

II-1 訪日外国人の旅行動向

1 2023年の訪日旅行の概況

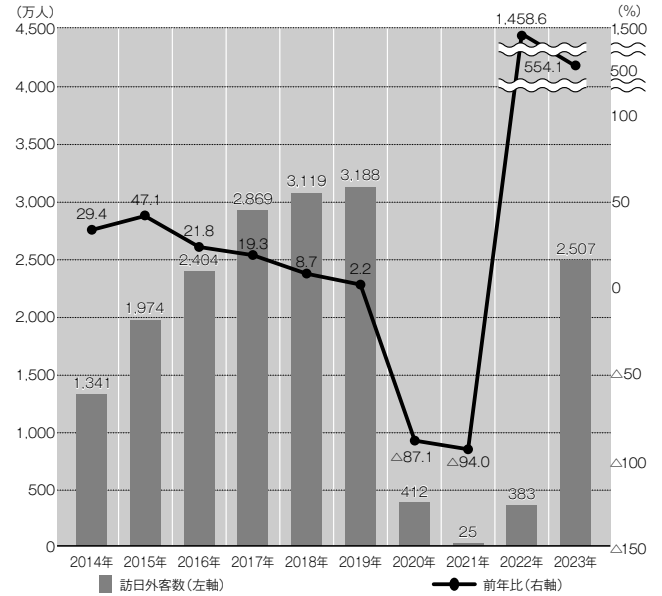
訪日外客数は2019年比21.4%減の2,507万人
旅行消費額は2019年比10.2%増の5兆3,065億円

(1) 訪日外客数の動向

日本政府観光局(JNTO)によると、2023年の訪日外客数は2,507万人であった。訪日外客数は2014年から2019年まで毎年増加を続けていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年から2022年の3年間は大幅に減少した(図II-1-1)。

また、国籍・地域別に見ると、2023年の訪日外国人のうちクルーズ客を除いた一般客数で最も人数が多かったのは韓国で694.4万人、次いで台湾が412.7万人、中国が236.3万人であった。2019年比では、特に韓国、シンガポール、アメリカの伸びが大きく、寄与度も高い(表II-1-1)。

図II-1-1 訪日外客数の推移



(注)2023年の訪日外客数は暫定値を使用している。

資料:日本政府観光局「訪日外客数」

表II-1-1 2023年における訪日外客数と訪日外国人旅行消費額

2023年	訪日外客数(人)				一人当たり旅行支出(円/人)		訪日外国人旅行消費額(億円)			
	シェア(%)	2019年比(%)	寄与度(%)		2019年比(%)	シェア(%)	2019年比(%)	寄与度(%)		
全国籍・地域	24,899,890	99.3	△ 16.6	△ 15.5	212,764	34.2	52,978	99.8	11.9	11.7
韓国	6,943,876	27.7	24.7	4.3	106,312	39.6	7,382	13.9	74.1	6.5
台湾	4,127,407	16.5	△ 10.4	△ 1.5	189,116	59.9	7,806	14.7	43.2	4.9
香港	2,109,955	8.4	△ 6.3	△ 0.4	227,360	45.8	4,797	9.0	36.6	2.7
中国	2,362,886	9.4	△ 70.4	△ 17.7	320,125	50.4	7,564	14.3	△ 55.5	△ 19.6
タイ	995,451	4.0	△ 24.4	△ 1.0	193,409	47.1	1,925	3.6	11.2	0.4
シンガポール	591,236	2.4	20.7	0.3	289,881	66.9	1,714	3.2	101.4	1.8
マレーシア	415,493	1.7	△ 16.5	△ 0.3	224,078	68.2	931	1.8	40.4	0.6
インドネシア	429,262	1.7	4.6	0.1	198,442	51.4	852	1.6	58.4	0.7
フィリピン	622,115	2.5	2.1	0.0	177,315	64.3	1,103	2.1	67.7	0.9
ベトナム	573,806	2.3	16.1	0.2	211,330	19.4	1,213	2.3	38.6	0.7
インド	166,385	0.7	△ 4.2	△ 0.0	231,539	47.2	385	0.7	41.1	0.2
イギリス	320,531	1.3	△ 22.4	△ 0.3	327,505	35.7	1,050	2.0	5.4	0.1
ドイツ	228,903	0.9	△ 0.2	△ 0.0	301,712	49.7	691	1.3	49.4	0.5
フランス	276,815	1.1	△ 17.6	△ 0.2	329,332	38.7	912	1.7	14.3	0.2
イタリア	152,102	0.6	△ 6.2	△ 0.0	334,346	67.6	509	1.0	57.3	0.4
スペイン	115,694	0.5	△ 10.9	△ 0.0	336,130	51.9	389	0.7	35.3	0.2
ロシア	41,924	0.2	△ 64.7	△ 0.2	258,694	41.4	108	0.2	△ 50.1	△ 0.2
アメリカ	2,044,896	8.2	20.2	1.1	296,813	56.7	6,070	11.4	88.4	5.9
カナダ	425,554	1.7	16.0	0.2	277,433	52.6	1,181	2.2	77.1	1.1
オーストラリア	612,887	2.4	0.3	0.0	340,661	37.4	2,088	3.9	37.9	1.2
その他	1,342,712	5.4	△ 2.0	△ 0.1	320,989	44.9	4,310	8.1	42.0	2.6
クルーズ客	166,460	0.7	△ 91.8	△ 5.8	52,437	32.0	87	0.2	△ 89.2	△ 1.5
全体	25,066,350	100.0	△ 21.4	△ 21.4	-	-	53,065	100.0	10.2	10.2

(注1)訪日外客数は暫定値。(注2)クルーズ客における「一人当たり旅行支出」及び「訪日外国人旅行消費額」は参考値。

■シェアは上位3か国・地域、2019年比は増加幅が大きい3か国・地域、寄与度はプラスの影響が大きい3か国・地域にそれぞれ色付けしている。

資料:日本政府観光局「訪日外客数」及び観光庁「訪日外国人消費動向調査」

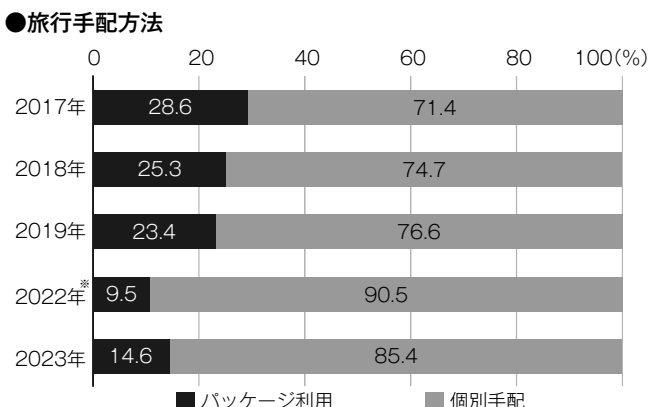
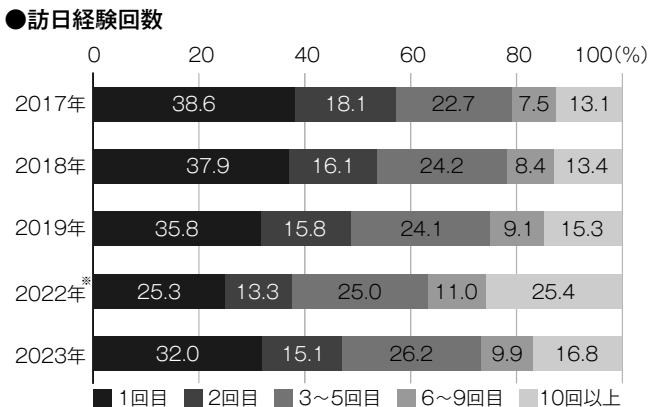
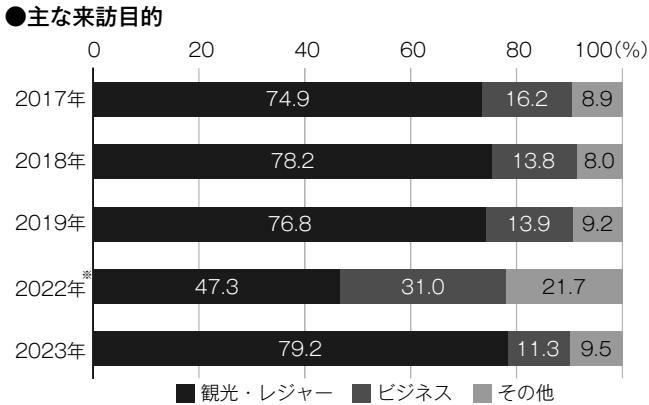
(2) 客層の変化

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2022年に約5割まで減少した「観光・レジャー」目的の割合が、2023年は79.2%であり、2019年以前と同程度となった。

訪日経験回数は、2022年よりも「10回以上」のリピーター割合が減少し、2019年以前の傾向に戻っている。

旅行手配方法は、2022年に引き続き、「個別手配」の割合が高い傾向にある(図II-1-2)。

図II-1-2 訪日外国人の客層変化



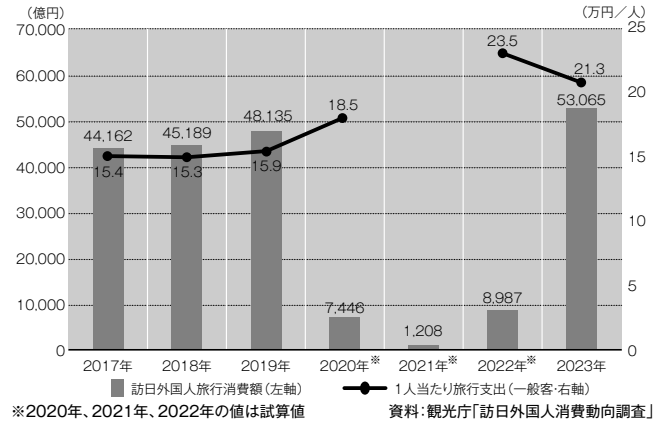
*2022年の値は試算値 資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

(3) 旅行支出の動向

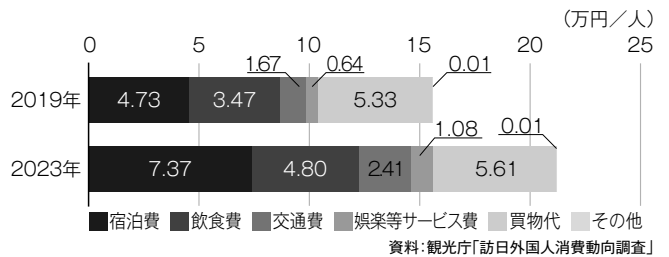
観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2023年の訪日外国人旅行消費額は5兆3,065億円(2019年比10.2%増)である(表II-1-1)。2019年と比べると、中国とロシアを除くすべての国籍・地域において、プラスに転じている。特に、韓国、台湾、アメリカの寄与度が高い。

また、2023年の訪日外国人旅行消費額を訪日外客数で割ることによって算出した一般客の一人当たり旅行支出は、21.3万円(2019年比34.2%増)であった(図II-1-3)。これは、円安や平均泊数の増加(全目的における2019年差1.3泊増)の影響による宿泊費や飲食費の増加が主な要因と考えられる(図II-1-4)。

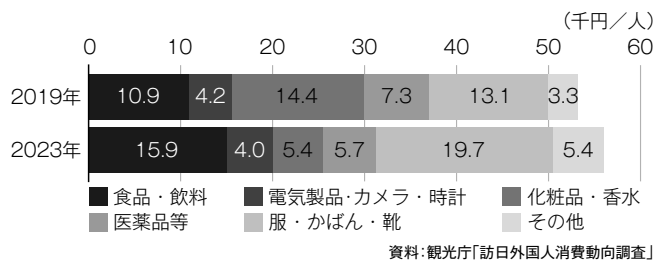
図II-1-3 訪日外国人旅行消費額の推移



図II-1-4 費目別に見る訪日外国人一人当たり旅行支出(一般客)



図II-1-5 費目別にみる訪日外国人一人当たり買物代(一般客)



(4) 日本人海外旅行との対比

2015年以降、外国人の訪日旅行(インバウンド旅行)が日本人の海外旅行(アウトバウンド旅行)を人数、国際収支ともに上回る状況が続いており、2019年にはいずれも過去最高を記録した。しかし、2020年から2022年の3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により双方とも大幅に落ち込む結果(最も落ち込んだ2021年は、2019年比で人数が99.2%減、国際収支が97.4%減)となった。2023年は回復傾向となり、訪日外客数(インバウンド旅行)が2,507万人(2019年比21.4%減)、日本人出国者数(アウトバウンド旅行)が962万人(2019年比52.1%減)であった(図II-1-6)。

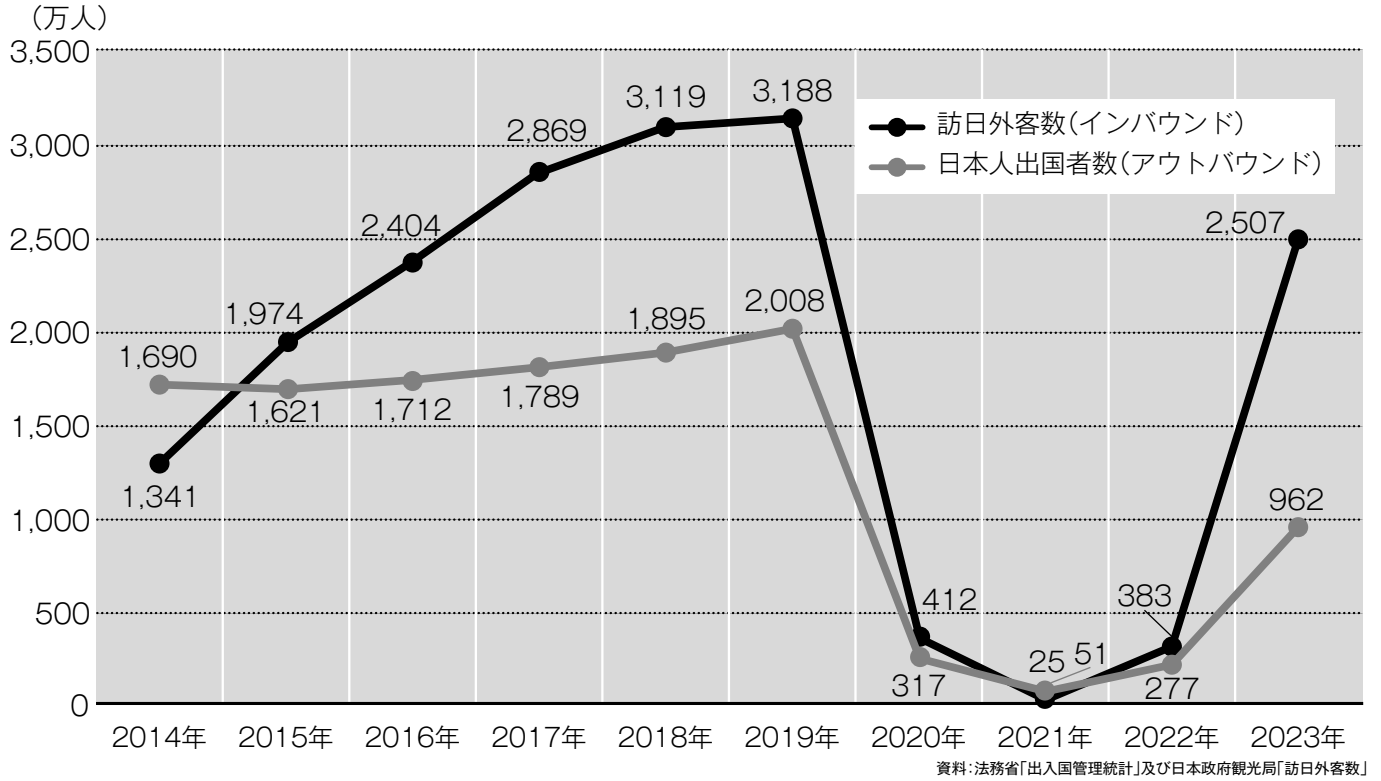
また、経済取引面からの視点として財務省・日本銀行「国際収支統計」を見ると、2023年は旅行受取(インバウンド)が1996

年以降過去最高の5兆4,211億円、旅行支払(アウトバウンド)は1兆7,898億円であり、旅行受取(インバウンド)が旅行支払(ア

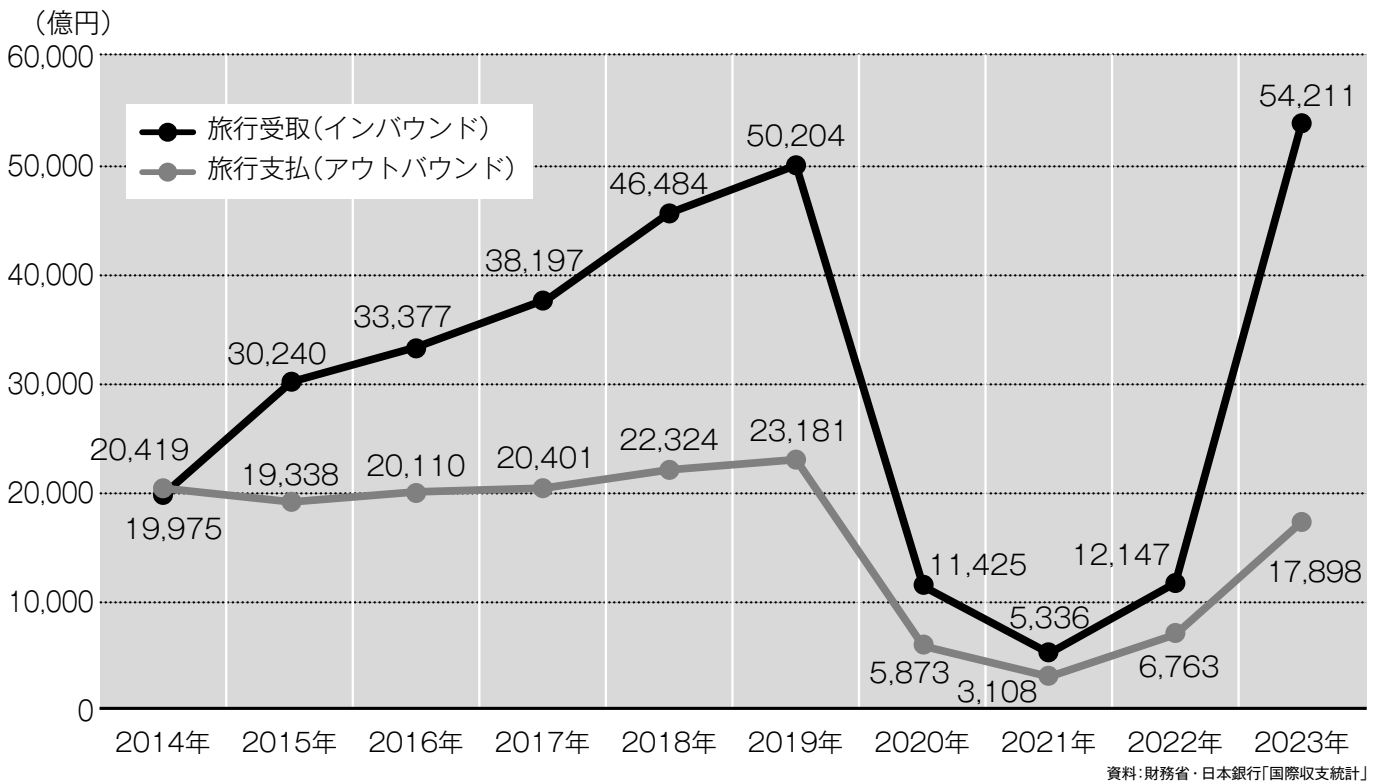
ウトバウンド)の約3倍となった(図Ⅱ-1-7)。

(園部容子)

図Ⅱ-1-6 訪日外客数及び日本人出国者数の推移



図Ⅱ-1-7 国際収支における旅行受取及び旅行支払の推移



2 市場別に見る訪日旅行動向

2023年の訪日外客数・訪日外国人旅行消費額は市場により回復の状況に差

(1)国籍・地域別に見る訪日旅行動向

2023年の訪日外客数を国籍・地域別に見ると、海外との往来が厳しく制限されていたコロナ禍以降、大幅な減少となっていたが、2023年は前年比554.1%増の2,507万人(2019年比21.4%減)でV字回復となった。

直近10年間について国籍・地域別に見ると、2014年以降(2021年を除く)は韓国、台湾、中国が上位3か国・地域を占める状況が継続していたが、2022年は中国に代わってアメリカが上位3か国にランクインした。2023年は再び2020年以前と同じく、上位3か国は韓国、台湾、中国となっている(表II-1-2)。

2023年のクルーズ客を除いた一般客(以下、一般客)の一人当たり旅行支出を国籍・地域別に見ると、中国やヨーロッパ、オーストラリア等で高く、30万円超えとなっている。いずれも「宿泊費」「飲食費」が占める割合が高く、この2費目で6~7割となっている(表II-1-3)。

表II-1-2 訪日外客数の推移(国籍・地域別)

(単位:万人) (単位:%)

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2023年/ 2019年比	2023年/ 2022年比
訪日外客数全体	1,341.3	1,973.7	2,404.0	2,869.1	3,119.2	3,188.2	411.6	24.6	383.2	2,506.6	△21.4	554.1
東アジア												
韓国	②275.5	②400.2	②509.0	②714.0	②753.9	②558.5	③48.8	1.9	①101.3	①695.8	24.6	587.1
台湾	①283.0	③367.7	③416.8	③456.4	③475.7	③489.1	②69.4	0.5	②33.1	②420.2	△14.1	1169.2
香港	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1	34.6	0.1	26.9	211.4	△7.7	685.2
中国	③240.9	①499.4	①637.4	①735.6	①838.0	①959.4	①106.9	4.2	18.9	③242.5	△74.7	1182.3
東南アジア												
タイ	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9	22.0	0.3	19.8	99.6	△24.5	402.7
シンガポール	22.8	30.9	36.2	40.4	43.7	49.2	5.5	0.1	13.2	59.1	20.1	348.0
マレーシア	25.0	30.5	39.4	44.0	46.8	50.2	7.7	0.2	7.4	41.6	△17.1	461.1
インドネシア	15.9	20.5	27.1	35.2	39.7	41.3	7.8	0.5	12.0	42.9	4.0	258.6
フィリピン	18.4	26.8	34.8	42.4	50.4	61.3	10.9	0.6	12.7	62.2	1.5	390.6
ベトナム	12.4	18.5	23.4	30.9	38.9	49.5	15.3	2.7	28.4	57.4	15.9	102.0
欧米・その他												
インド	8.8	10.3	12.3	13.4	15.4	17.6	2.7	0.9	5.4	16.6	△5.4	206.4
イギリス	22.0	25.8	29.2	31.0	33.4	42.4	5.1	0.7	5.7	32.1	△24.2	459.1
ドイツ	14.0	16.3	18.3	19.6	21.5	23.7	3.0	0.5	4.6	23.3	△1.3	410.2
フランス	17.9	21.4	25.3	26.9	30.5	33.6	4.3	0.7	5.3	27.7	△17.5	425.6
イタリア	8.1	10.3	11.9	12.6	15.0	16.3	1.4	0.4	2.4	15.2	△6.4	543.1
スペイン	6.1	7.7	9.2	10.0	11.9	13.0	1.2	0.3	1.6	11.6	△11.0	627.6
ロシア	6.4	5.4	5.5	7.7	9.5	12.0	2.2	0.4	1.0	4.2	△65.0	306.5
アメリカ	89.2	103.3	124.3	137.5	152.6	172.4	21.9	2.0	③32.4	204.6	18.7	532.4
カナダ	18.3	23.1	27.3	30.6	33.1	37.5	5.3	0.4	5.6	42.6	13.5	662.2
オーストラリア	30.3	37.6	44.5	49.5	55.2	62.2	14.4	0.3	8.9	61.3	△1.4	591.6
その他	68.2	85.7	98.0	109.5	119.9	138.1	21.2	7.0	36.7	134.4	△2.7	266.5
うちクルーズ客(再掲)	-	-	193.6	244.9	233.8	202.6	12.0	0.0	0.0	16.6	△91.8	-

(注)①②③は各年で訪日外客数が多い国籍・地域の順位を示す。

資料:日本政府観光局「訪日外客数」及び法務省「出入国管理統計」

表II-1-3 費目別に見る訪日外国人一人当たり旅行支出と旅行消費額(一般客、2023年)

(単位:円/人) (単位:億円)

国籍・地域	旅行支出総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	旅行消費額
全国籍・地域	212,764	73,674	47,981	24,078	10,838	56,098	95	52,978
東アジア								
韓国	106,312	34,859	29,399	9,299	6,037	26,630	87	7,382
台湾	189,116	53,375	40,364	19,277	10,005	65,906	190	7,806
香港	227,360	70,285	53,249	22,388	10,062	71,247	129	4,797
中国	320,125	88,265	60,647	25,876	23,553	121,717	67	7,564
東南アジア								
タイ	193,409	59,201	45,443	25,920	7,189	55,624	32	1,925
シンガポール	289,881	110,302	60,468	34,272	11,564	73,276	0	1,714
マレーシア	224,078	77,621	48,346	26,587	8,690	62,833	3	931
インドネシア	198,442	71,865	38,533	26,904	8,009	53,131	0	852
フィリピン	177,315	57,358	36,833	20,640	8,390	54,088	6	1,103
ベトナム	211,330	63,837	48,260	22,454	8,825	67,954	0	1,213
欧米・その他								
インド	231,539	95,716	43,897	31,948	6,777	53,201	0	385
イギリス	327,505	149,769	69,699	46,803	13,857	47,225	153	1,050
ドイツ	301,712	138,972	69,579	45,936	11,060	36,116	50	691
フランス	329,332	145,019	71,400	49,453	11,764	51,681	15	912
イタリア	334,346	145,440	81,861	53,615	12,641	40,624	165	509
スペイン	336,130	136,186	80,055	62,066	14,708	43,066	48	389
ロシア	258,694	103,227	69,124	38,884	7,350	40,109	0	108
アメリカ	296,813	129,695	67,071	40,468	13,110	46,275	193	6,070
カナダ	277,433	116,544	65,213	39,810	12,022	43,845	0	1,181
オーストラリア	340,661	139,457	76,600	49,136	21,730	53,707	31	2,088
その他	320,989	132,063	73,201	45,699	13,344	56,676	7	4,310

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

①韓国

2023年の韓国人出国者数は2,272万人で、2019年比で約2割減(前年の655万人から約3.5倍の増加)となった。また、2023年の訪日韓国人旅行者数は696万人で、2019年比24.6%増と大幅な回復となった。これは経済問題や安全保障に関する日韓関係の問題により、2019年の8月以降、訪日韓国人旅行者数が大幅に減少した反動による影響も大きい(表II-1-7)。

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2023年に日本を訪れた韓国人の平均泊数は4.7泊で2019年から0.4泊減少した。また、観光レジャー目的の比率は87.0%(2019年差9.2ポイント増)、リピーター率は76.5%(同2.7ポイント減)、ツアー利用率は13.7%(同1.0ポイント減)となっており、2019年以前の状況に戻っている(表II-1-4)。

また、訪日韓国人(一般客)の一人当たり旅行支出は10.6万円で、2019年比39.6%の増加となった。平均泊数は若干減少したものの、泊数と連動する「宿泊費」や「飲食費」以外にも、「娯楽等サービス費」や「買物代」等、全体的に増加が見られた(図II-1-8)。これは、為替レートの影響(2019年に比べて円安が進んだ)も大きいと考えられる(表II-1-7)。また、「買物代」のうち、最も購入率が高かったのは「菓子類」の83.1%で、購入者単価は7,016円であった(表II-1-5)。

表II-1-4 訪日韓国人の旅行動向

	2019年	2022年	2023年	2019年差	2023年/2019年比
訪日韓国人旅行者数(万人)	558	101	696	137	24.6%
平均泊数(泊)	5.1	8.5	4.7	△0.4	△7.6%
観光レジャー比率	77.8%	71.0%	87.0%	9.2%	11.8%
リピーター率	79.2%	84.6%	76.5%	△2.7%	△3.4%
ツアー利用率	14.7%	6.8%	13.7%	△1.0%	△7.0%

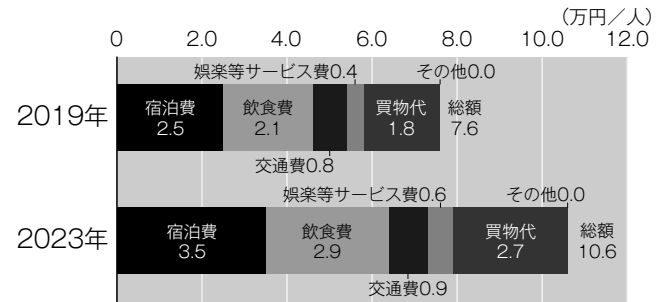
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-5 費目別購入率及び購入者単価(韓国・一般客、2023年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	83.1	7,016
2位	その他食料品・飲料・たばこ	39.2	6,806
3位	酒類	37.5	7,809
4位	医薬品	34.8	7,783
5位	衣類	23.4	19,738
6位	化粧品・香水	18.0	9,252
7位	靴・かばん・革製品	10.4	24,111
8位	健康グッズ・トイレタリー	6.3	14,024
9位	民芸品・伝統工芸品	3.2	4,505
10位	音楽・映像・ゲーム等ソフトウェア	2.1	16,562

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-8 訪日韓国人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-6 アジア各国・地域への韓国人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
日本	NFV	400.2	509.0	714.0	753.9	558.5	48.8	1.9	101.3	695.8
台湾	RFV	65.9	88.4	105.5	101.9	124.3	17.9	0.3	5.2	74.5
香港	RFV	93.3	107.2	116.1	111.6	78.0	4.0	0.1	0.8	40.3
中国	NFV	444.4	477.5	386.4	419.3	-	-	-	-	-
タイ	NFT	135.9	145.0	170.9	179.6	188.8	26.0	1.2	53.9	166.0
シンガポール	RFV	57.7	56.7	63.1	62.9	64.6	9.0	0.7	21.8	57.1
マレーシア	NFV	42.1	44.4	48.5	61.7	67.3	12.0	0.3	14.6	40.1
インドネシア	RFT	37.6	38.7	-	35.9	38.8	7.6	0.9	12.1	34.7
フィリピン	RFT	134.0	147.5	160.8	158.8	198.9	33.9	0.6	42.8	145.1
ベトナム	RFV	111.3	154.4	241.5	348.5	429.1	84.0	3.3	76.9	359.5
カンボジア	RFT	39.5	35.7	34.5	30.2	25.5	5.6	0.6	6.4	17.0

[N] 国籍別統計 / [R] 居住地別統計 / [F] 国境到着者数 / [V] 日帰りを含む旅行者数 / [T] 宿泊を伴った旅行者数

資料：韓国観光公社「국민 해외관광객 주요 목적지별 통계」

表II-1-7 韓国基本情報

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2027
①人口(万人) ^{*1}	5,075	5,102	5,122	5,136	5,159	5,177	5,184	5,177	5,167	5,160	5,139
②韓国人出国者数(万人) ^{*2}	1,608	1,931	2,238	2,650	2,870	2,871	428	122	655	2,272	-
③出国率(%) (②÷①)	31.7	37.9	43.7	51.6	55.6	55.5	8.2	2.4	12.7	44.0	-
④訪日韓国人旅行者数(万人) ^{*3}	275.5	400.2	509.0	714.0	753.9	558.5	48.8	1.9	101.3	695.8	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	17.1	20.7	22.7	26.9	26.3	19.4	11.4	1.6	15.5	30.6	-
⑥為替レート(100円/韓国ウォン) ^{*1}	10.0	10.7	9.4	9.9	10.0	9.4	9.0	9.6	10.2	10.8	-
⑦GDP成長率(%) ^{*1}	3.2	2.8	2.9	3.2	2.9	2.2	△0.7	4.3	2.6	1.4	2.1
⑧一人当たりGDP(米ドル) ^{*1}	29,253	28,737	29,274	31,601	33,447	31,902	31,728	35,126	32,395	33,192	39,012

(注) 斜体は推計値。

資料：国際通貨基金(※1)、韓国観光公社(※2)、日本政府観光局(※3)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

②台湾

2023年の台湾人出境者数は1,180万人で、2019年比では約3割減(2022年の148万人から約8倍の増加)となった。また、2023年の訪日台湾人旅行者数は420万人で、2019年比14.1%減となった(表II-1-11)。台湾人の訪問先上位5位の国・地域の中で、2019年と比べると日本はベトナムに次いで好調な回復状況といえる(表II-1-10)。

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2023年に日本を訪れた台湾人の平均泊数は7.0泊で2019年から0.8泊増加した。また、観光レジャー目的の比率は90.9%(2019年差2.4ポイント増)、リピーター率は88.6%(同1.8ポイント増)とコロナ禍前の傾向に戻りつつあるが、ツアー利用率は28.8%(同5.9ポイント減)となっており、個人旅行者が増加している(表II-1-8)。

また、訪日台湾人(一般客)の一人当たり旅行支出は18.9万円で、2019年比59.9%の増加となった。「宿泊費」や「飲食費」以外にも、「娯楽等サービス費」や「買物代」等、全体的に増加が見られた(図II-1-9)。これは、2019年以降継続的に円安が進んでいる影響もあると考えられる(表II-1-11)。「買物代」のうち、最も購入率が高かったのは「菓子類」の購入率が77.9%で、購入者単価は12,799円であった(表II-1-9)。

表II-1-8 訪日台湾人の旅行動向

	2019年	2022年	2023年	2019年差	2023年/2019年比
訪日台湾人旅行者数(万人)	489	33	420	△69	△14.1%
平均泊数(泊)	6.1	10.8	7.0	0.8	13.6%
観光レジャー比率	88.5%	65.7%	90.9%	2.4%	2.7%
リピーター率	86.8%	94.5%	88.6%	1.8%	2.1%
ツアー利用率	34.7%	6.8%	28.8%	△5.9%	△17.0%

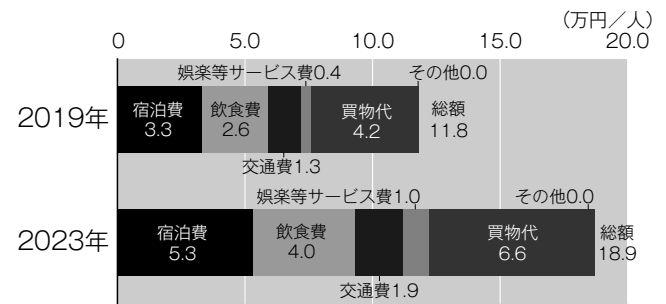
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-9 費目別購入率及び購入者単価(台湾・一般客、2023年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	77.9	12,799
2位	医薬品	48.2	19,190
3位	衣類	42.2	22,857
4位	その他食料品・飲料・たばこ	40.7	10,058
5位	靴・かばん・革製品	29.8	40,545
6位	化粧品・香水	29.2	16,979
7位	健康グッズ・トイレタリー	24.5	18,418
8位	酒類	16.1	10,871
9位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	11.4	28,477
10位	生鮮農産物	9.5	7,212

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-9 訪日台湾人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-10 方面別台湾人旅行者数

	2019年			2020年			2021年			2022年			2023年		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)
1位	日本	491.2	1.8	日本	69.8	△85.8	中国	12.9	△69.0	日本	35.4	2421.3	日本	422.6	1093.0
2位	中国	404.4	△3.1	中国	41.5	△89.7	米国	10.4	△27.8	米国	21.6	108.0	中国	176.1	961.6
3位	香港	167.6	△1.2	香港	16.4	△86.4	日本	1.4	△98.0	中国	16.6	29.0	韓国	95.5	1119.0
4位	韓国	120.9	11.3	韓国	15.8	△81.4	シンガポール	1.4	△79.2	ベトナム	13.3	1097.5	ベトナム	85.4	541.0
5位	ベトナム	85.3	29.5	ベトナム	15.8	△90.6	香港	1.3	△92.0	タイ	10.5	1215.1	タイ	77.7	641.1

(注) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

資料：台湾交通部観光局

表II-1-11 台湾基本情報

	年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2027
①人口(万人) ^{*1}		2,343	2,349	2,354	2,357	2,359	2,360	2,356	2,338	2,333	2,332	2,332
②台湾人出境者数(万人) ^{*2}		1,184	1,318	1,459	1,565	1,664	1,710	234	36	148	1,180	-
③出境率(%) (②÷①)		50.5	56.1	62.0	66.4	70.6	72.5	9.9	1.5	6.3	50.6	-
④訪日台湾人旅行者数(万人) ^{*3}		283.0	367.7	416.8	456.4	475.7	489.1	69.4	0.5	33.1	420.2	-
⑤出境者に占める訪日旅行者比率(④÷②)		23.9	27.9	28.6	29.2	28.6	28.6	29.7	1.4	22.4	35.6	-
⑥為替レート(円/台湾ドル) ^{*1*4}		3.5	3.8	3.4	3.7	3.7	3.5	3.6	3.9	4.4	4.5	-
⑦GDP成長率(%) ^{*1}		4.7	1.5	2.2	3.3	2.8	3.1	3.4	6.6	2.6	1.4	2.4
⑧一人当たりGDP(米ドル) ^{*1}		22,844	22,753	23,071	25,062	25,826	25,903	28,571	33,071	32,610	32,444	40,453

(注) 斜体は推計値。

資料：国際通貨基金(※1)、台湾交通部観光局(※2)、日本政府観光局(※3)、連邦準備制度理事会(※4)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

③香港

2023年の香港人出境者数は7,220万人で、2019年比では23.8%減となった。また、2023年の訪日香港人旅行者数は211万人で、2019年比7.7%減となった。出境者に占める訪日旅行者比率は2.9%と、コロナ禍前よりも増加している(表II-1-15)。

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2023年に日本を訪れた香港人の平均泊数は7.2泊で2019年から1.1泊増加した。また、観光レジャー目的の比率は92.8% (2019年差1.2ポイント増)、リピー

ター率は91.3% (同3.2ポイント増)とコロナ禍前の傾向に戻っている。一方で、ツアー利用率は11.1% (同10.0ポイント減)となり、個人旅行者が大幅に増加している(表II-1-12)。

また、訪日香港人(一般客)の一人当たり旅行支出は22.7万円で、2019年比45.8%の増加となった。「宿泊費」や「飲食費」以外にも、「娯楽等サービス費」や「買物代」等、全体的に増加が見られた(図II-1-10)。特に「買物代」のうち、最も購入率が高かったのは「菓子類」の70.3%で、購入者単価は14,143円であった(表II-1-13)。

表II-1-12 訪日香港人の旅行動向

	2019年	2022年	2023年	2019年差	2023年/2019年比
訪日香港人旅行者数(万人)	229	27	211	△18	△7.7%
平均泊数(泊)	6.1	9.1	7.2	1.1	17.7%
観光レジャー比率	91.6%	89.1%	92.8%	1.2%	1.3%
リピーター率	88.1%	95.0%	91.3%	3.2%	3.6%
ツアー利用率	21.1%	3.3%	11.1%	△10.0%	△47.6%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-13 費目別購入率及び購入者単価(香港・一般客、2023年)

購入率 順位	費目	購入率 (%)	購入者単価 (円/人)
1位	菓子類	70.3	14,143
2位	衣類	52.8	30,424
3位	その他食料品・飲料・たばこ	38.5	11,430
4位	靴・かばん・革製品	37.1	44,923
5位	医薬品	35.6	14,899
6位	化粧品・香水	34.5	20,598
7位	健康グッズ・トイレタリー	13.8	13,355
8位	酒類	13.3	14,025
9位	生鮮農産物	9.4	6,728
10位	民芸品・伝統工芸品	4.7	11,332

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-10 訪日香港人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-14 アジア各国・地域への香港人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
日本	NFV	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1	34.6	0.1	26.9
韓国	NFV	52.3	65.1	65.8	68.4	69.5	8.9	0.1	6.1
台湾	RFV	151.4	161.5	169.2	150.7	159.8	16.2	1.0	3.1
中国	NFV	7,944.8	8,105.9	7,979.6	7,936.8	8,050.1	-	-	-
タイ	NFT	67.0	75.1	82.1	101.6	104.5	12.4	0.2	16.2
シンガポール	RFV	61.0	53.8	46.6	47.3	48.9	5.9	-	-
マレーシア	NFV	0.1	-	-	-	-	-	-	-
インドネシア	RFT	9.4	10.1	9.8	9.1	5.0	0.3	-	-
フィリピン	RFT	12.2	11.6	11.1	11.8	9.2	1.2	-	-
ベトナム	RFV	-	3.5	4.8	6.2	5.2	-	-	-
カンボジア	RFT	1.5	1.6	1.3	1.2	0.2	0.0	-	-

[N] 国籍別統計 / [R] 居住地域別統計 / [F] 国境到着者数 / [V] 日帰りを含む旅行者数 / [T] 宿泊を伴った旅行者数

資料：日本政府観光局「日本の国際観光統計(2023)」

表II-1-15 香港基本情報

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2027
①人口(万人) ^{*1}	725	731	738	742	749	752	743	740	747	754	772
②香港人出境者数(万人) ^{*2}	8,452	8,908	9,176	9,134	9,221	9,472	8,261	905	2,181	7,220	-
③出境率(%) (②÷①)	1165.3	1218.6	1243.7	1231.8	1231.5	1259.4	1112.3	122.3	291.9	958.2	-
④訪日香港人旅行者数(万人) ^{*2}	92.6	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1	34.6	0.1	26.9	211.4	-
⑤出境者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	1.1	1.7	2.0	2.4	2.4	2.4	0.4	0.0	1.2	2.9	-
⑥為替レート(円/香港ドル) ^{*1*3}	13.6	15.6	14.0	14.4	14.1	13.9	13.9	14.1	16.8	17.9	-
⑦GDP成長率(%) ^{*1}	2.8	2.4	2.2	3.8	2.8	△1.7	△6.5	6.5	△3.7	3.2	2.6
⑧一人当たりGDP(米ドル) ^{*1}	40,185	42,325	43,488	46,026	48,310	48,278	46,446	49,849	48,002	50,030	61,081

(注) 斜体は推計値。

資料：国際通貨基金(※1)、日本政府観光局(※2)、連邦準備制度理事会(※3)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

④中国

2023年の中国人出国者数は1億96万人で、2019年比では40.3%減となった。なお、コロナ禍前は年々上昇を続けていた出国率は7.2%である。また、2023年の訪日中国人旅行者数は243万人で、2019年比74.7%減であった(表II-1-19)。ほかの国籍・地域と比較して、中国における出国の状況について、訪問先に限らず回復が遅れている状況である。

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2023年に日本を訪れた中国人の平均泊数は16.2泊で2019年から8.7泊増加した。また、観光レジャー目的の比率は64.0%(2019年差20.2ポイント減)、リピーター率は65.0%(同15.0ポイント増)、ツアー利用率は5.2%(同28.8

ポイント減)となり、訪日客の傾向はコロナ禍前と異なる状況が続いている。また、人数ベースの回復も遅れており、2023年は2019年から717万人減の243万人となった(表II-1-16)。

また、訪日中国人(一般客)の一人当たり旅行支出は32.0万円で、2019年比50.4%の増加となった。「宿泊費」や「飲食費」以外にも、「娯楽等サービス費」や「買物代」等、全体的に増加が見られた(図II-1-11)。特に「娯楽等サービス費」の伸びが大きい。また、「買物代」のうち購入率が高い費目を2019年と比べると、順位の変動はあるものの上位5費目自体は変化がない。ただ、「化粧品・香水」の購入率は2019年の81.9%から52.2%と大きく減少した(表II-1-17)。

表II-1-16 訪日中国人の旅行動向

	2019年	2022年	2023年	2019年差	2023年/2019年比
訪日中国人旅行者数(万人)	959	19	243	△717	△74.7%
平均泊数(泊)	7.5	59.5	16.2	8.7	116.7%
観光レジャー比率	84.2%	2.3%	64.0%	△20.2%	△24.0%
リピーター率	50.0%	74.2%	65.0%	15.0%	29.9%
ツアー利用率	34.0%	0.1%	5.2%	△28.8%	△84.8%

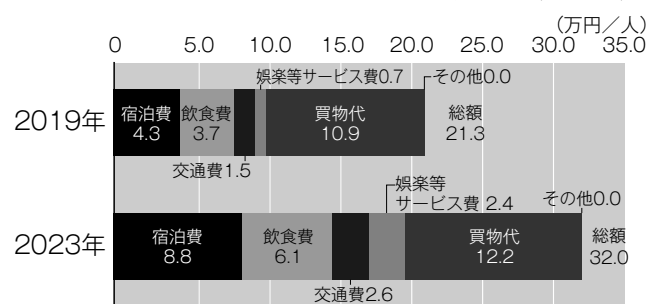
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-17 費目別購入率及び購入者単価(中国・一般客、2023年)

購入率 順位	費目	購入率 (%)	購入者単価 (円/人)
1位	菓子類	72.7	13,258
2位	化粧品・香水	52.2	44,995
3位	医薬品	36.9	21,922
4位	衣類	36.0	47,926
5位	その他食料品・飲料・たばこ	34.1	15,688
6位	靴・かばん・革製品	28.2	101,933
7位	健康グッズ・トイレットリー	15.9	23,820
8位	酒類	12.0	18,437
9位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	10.7	50,778
10位	民芸品・伝統工芸品	5.5	15,823

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-11 訪日中国人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-18 アジア各国・地域への中国人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
日本	NFV	499.4	637.4	735.6	838.0	959.4	106.9	4.2	18.9
韓国	NFV	598.4	806.8	416.9	479.0	602.3	68.6	17.0	22.7
台湾	RFV	418.4	351.2	273.3	269.6	271.4	11.1	1.3	2.4
香港	RFV	1,799.7	1,736.5	1,852.6	1,990.2	1,622.7	88.5	6.5	35.6
タイ	NFV	793.7	875.8	980.6	1,053.4	1,099.7	125.0	1.3	27.4
シンガポール	RFV	210.6	286.4	322.8	341.8	362.7	35.7	-	-
マレーシア	NFV	167.7	212.5	228.1	294.4	311.4	40.5	-	-
インドネシア	RFV	124.9	155.7	209.3	213.9	207.2	24.0	-	-
フィリピン	RFV	49.1	67.6	96.8	125.5	174.3	17.0	-	-
ベトナム	RFV	178.1	269.7	400.8	496.6	580.6	95.9	5.8	12.5
カンボジア	RFV	69.5	83.0	121.1	202.4	236.2	33.0	-	-

[N]国籍別統計/[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数/[T]宿泊を伴った旅行者数

資料：日本政府観光局「日本の国際観光統計(2023)」

表II-1-19 中国基本情報

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2027
①人口(万人) ^{*1}	137,646	138,326	139,232	140,011	140,541	141,008	141,212	141,260	141,175	141,140	140,694
②中国人出国者数(万人) ^{*2}	11,659	12,786	13,513	14,273	16,199	16,921	-	-	-	10,096	-
③出国率(%) (②÷①)	8.5	9.2	9.7	10.2	11.5	12.0	-	-	-	7.2	-
④訪日中国人旅行者数(万人) ^{*3}	240.9	499.4	637.4	735.6	838.0	959.4	106.9	4.2	18.9	242.5	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	2.1	3.9	4.7	5.2	5.2	5.7	-	-	-	2.4	-
⑥為替レート(円/中国元) ^{*1}	17.2	19.5	16.4	16.6	16.7	15.8	15.4	17.0	19.5	19.8	-
⑦GDP成長率(%) ^{*1}	7.4	7.0	6.9	6.9	6.8	6.0	2.2	8.5	3.0	5.2	3.6
⑧一人当たりGDP(米ドル) ^{*1}	7,646	8,034	8,063	8,760	9,849	10,170	10,525	12,572	12,643	12,514	15,834

(注1)斜体は推計値。

(注2)②中国人出国者数は香港・マカオへの出国者を含むが、日帰りは含んでいない。

資料：国際通貨基金(※1)、中国国家统计局(※2)、日本政府観光局(※3)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

⑤タイ

2014年以降、順調に増加を続けていた訪日タイ人旅行者数は、2023年は99.6万人(2019年比24.5%減)で、2017年と同水準まで回復している(表Ⅱ-1-23)。

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2023年に日本を訪れたタイ人の平均泊数は9.3泊で2019年から0.5泊増加した。また、観光レジャー目的の比率は82.8% (2019年差5.6ポイント増)、リピーター率は78.3% (同6.2ポイント増)、ツアー利用率は19.5% (同9.4ポイント減)となり、ツアー利用率がコロナ禍以降減少傾向にある

(表Ⅱ-1-20)。

また、訪日タイ人(一般客)の一人当たり旅行支出は19.3万円で、2019年比47.1%の増加となった。「宿泊費」や「飲食費」以外にも、「娯楽等サービス費」や「買物代」等、全体的に増加が見られた(図Ⅱ-1-12)。これは、2014年以降で見ると円安の水準が最も高い状況にある影響が大きいものと推測される(表Ⅱ-1-23)。特に、「買物代」のうち、最も購入率が高かったのは「菓子類」の83.9%で、上位5費目は2019年と変わらない(表Ⅱ-1-21)。

表Ⅱ-1-20 訪日タイ人の旅行動向

	2019年	2022年	2023年	2019年差	2023年/2019年比
訪日タイ人旅行者数(万人)	132	20	100	△32	△24.5%
平均泊数(泊)	8.8	12.8	9.3	0.5	6.0%
観光レジャー比率	77.2%	70.1%	82.8%	5.6%	7.2%
リピーター率	72.2%	82.0%	78.3%	6.2%	8.5%
ツアー利用率	28.9%	19.0%	19.5%	△9.4%	△32.4%

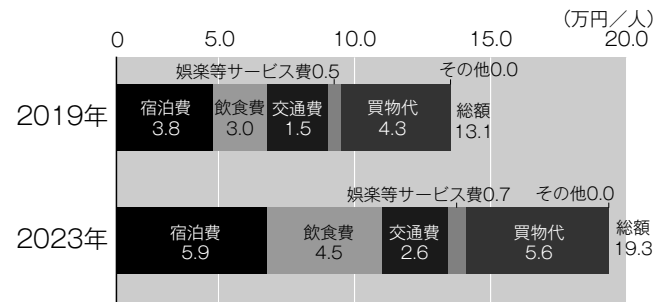
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-21 費目別購入率及び購入者単価(タイ・一般客、2023年)

購入率順位	費目	購入率 (%)	購入者単価 (円/人)
1位	菓子類	83.9	17,356
2位	衣類	45.3	21,132
3位	その他食料品・飲料・たばこ	45.0	10,714
4位	靴・かばん・革製品	42.5	29,728
5位	化粧品・香水	31.7	19,704
6位	酒類	17.9	9,605
7位	医薬品	9.4	11,684
8位	生鮮農産物	6.5	9,207
9位	健康グッズ・トイレタリー	4.5	11,076
10位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	3.7	15,231

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図Ⅱ-1-12 訪日タイ人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表Ⅱ-1-22 アジア各国・地域へのタイ人訪問者数

(単位：万人)

訪問先	基準	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
日本	NFV	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9	22.0	0.3	19.8
韓国	NFV	37.2	47.0	49.9	55.9	57.2	7.7	-	-
台湾	RFV	12.4	19.6	29.3	32.0	41.4	6.4	0.8	7.4
香港	RFV	41.1	45.5	43.0	45.0	35.3	1.8	-	-
中国	NFV	94.1	74.9	77.6	83.3	87.1	-	-	-
シンガポール	RFV	51.6	54.7	53.1	54.6	52.8	6.4	-	-
マレーシア	NFV	134.4	178.1	183.7	191.5	188.4	39.4	6.0	71.6
インドネシア	RFT	12.1	12.5	13.8	12.4	13.7	2.1	-	-
フィリピン	RFT	4.4	4.8	4.9	6.0	6.1	1.0	-	-
ベトナム	RFV	21.5	26.7	30.2	34.9	51.0	-	-	-
カンボジア	RFT	35.0	39.8	39.5	38.2	46.6	21.1	-	-

[N]国籍別統計/[R]居住地別統計/[F]国境到着者数/[V]日帰りを含む旅行者数/[T]宿泊を伴った旅行者数

資料：日本政府観光局「日本の国際観光統計(2023)」

表Ⅱ-1-23 タイ基本情報

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2027
①人口(万人) ^{*1}	6,844	6,872	6,897	6,921	6,943	6,963	6,980	6,995	7,008	7,018	7,039
②タイ人出国者数(万人) ^{*2}	644	679	820	896	996	1,045	-	-	-	-	-
③出国率(%) (②÷①)	9.4	9.9	11.9	13.0	14.3	15.0	-	-	-	-	-
④訪日タイ人旅行者数(万人) ^{*2}	65.8	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9	22.0	0.3	19.8	99.6	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	10.2	11.7	11.0	11.0	11.4	12.6	-	-	-	-	-
⑥為替レート(円/バツ) ^{*1}	3.3	3.5	3.1	3.3	3.4	3.5	3.4	3.4	3.7	4.0	-
⑦GDP成長率(%) ^{*1}	1.0	3.1	3.4	4.2	4.2	2.1	△6.1	1.5	2.5	1.9	3.0
⑧一人当たりGDP(米ドル) ^{*1}	5,952	5,840	5,993	6,594	7,299	7,813	7,170	7,237	7,073	7,337	9,147

(注)斜体は推計値。

資料：国際通貨基金(※1)、日本政府観光局(※2)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

⑥アメリカ

2023年のアメリカ人出国者数は2019年比では11.8%増の6,718万人となった。また、2023年の訪日アメリカ人旅行者数は2019年比18.7%増の205万人で、アメリカ人出国者数に占める訪日旅行者の比率は3.0%と、2014年以降の最高水準となった(表II-1-26)。

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2023年に日本を訪れたアメリカ人の平均泊数は12.1泊で2019年から0.3泊減少した。また、観光レジャー目的の比率は64.2% (2019年差11.9ポイント増)、リピーター率は41.4% (同6.7ポイント減)、ツアー利用率は7.1% (同1.0ポイント減)となり、コロナ禍前とは異なる客層となっている(表II-1-24)。

表II-1-24 訪日アメリカ人の旅行動向

	2019年	2022年	2023年	2019年差	2023年/2019年比
訪日アメリカ人旅行者数(万人)	172	32	205	32	18.7%
平均泊数(泊)	12.4	18.1	12.1	△0.3	△2.2%
観光レジャー比率	52.3%	32.6%	64.2%	11.9%	22.7%
リピーター率	48.1%	59.7%	41.4%	△6.7%	△14.0%
ツアー利用率	8.2%	3.1%	7.1%	△1.0%	△12.6%

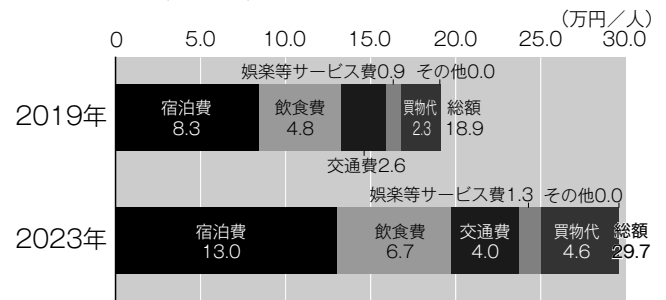
資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-25 費目別購入率及び購入者単価(アメリカ一般客、2023年)

購入率順位	費目	購入率 (%)	購入者単価 (円/人)
1位	その他食料品・飲料・たばこ	54.2	13,677
2位	菓子類	44.4	11,144
3位	衣類	42.6	23,280
4位	酒類	30.3	12,733
5位	民芸品・伝統工芸品	22.2	14,617
6位	靴・かばん・革製品	14.2	30,013
7位	化粧品・香水	10.6	14,461
8位	本・雑誌・ガイドブック等	9.4	8,475
9位	音楽・映像・ゲーム等ソフトウェア	6.2	20,268
10位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	4.6	28,796

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

図II-1-13 訪日アメリカ人の一人当たり旅行支出(一般客)



寄与度	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
	24.6%	9.9%	7.6%	2.3%	12.2%	0.1%

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-26 アメリカ基本情報

年	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2027
①人口(万人) ^{*1}	31,862	32,093	32,322	32,528	32,702	32,855	33,127	33,233	33,351	33,514	34,330
②アメリカ人出国者数(万人) ^{*2}	4,113	4,464	4,859	5,295	5,643	6,010	1,559	2,897	5,438	6,718	-
③出国率(%) (②÷①)	12.9	13.9	15.0	16.3	17.3	18.3	4.7	8.7	16.3	20.0	-
④訪日アメリカ人旅行者数(万人) ^{*3}	89.2	103.3	124.3	137.5	152.6	172.4	21.9	2.0	32.4	204.6	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	2.2	2.3	2.6	2.6	2.7	2.9	1.4	0.1	0.6	3.0	-
⑥為替レート(円/米ドル) ^{*1}	105.6	121.1	108.7	112.1	110.4	109.0	108.2	109.8	131.6	140.5	-
⑦GDP成長率(%) ^{*1}	2.5	2.9	1.8	2.5	3.0	2.5	△2.2	5.8	1.9	2.5	2.1
⑧一人当たりGDP(米ドル) ^{*1}	55,264	57,007	58,180	60,293	63,165	65,505	64,367	70,996	77,192	81,632	94,012

(注1) 斜体は推計値。

(注2) ②アメリカ人出国者数はメキシコやカナダへの陸路による出国者数を除いた数値。

(注3) 出発地側の発表データであり、到着地が公表している各国の到着者数とは一致しない。

資料：国際通貨基金(※1)、アメリカ商務省国際貿易局(※2)、日本政府観光局(※3)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

(2)都道府県別に見る訪日旅行動向

①訪問者数

2023年は、「訪日外国人消費動向調査」のうち、訪日外国人の都道府県別訪問者数を算出するための「B1.地域調査」について、新型コロナウイルス感染症の影響により1～3月期の調査を中止している。そのため、4～6月期、7～9月期、10～12月期の3四半期の結果が観光庁のウェブサイトに掲載されているため、そちらを参照されたい。

②クルーズ客数

船舶観光上陸許可を受けた外国人数(クルーズ客数)は、コロナ禍以前と同様の傾向で、九州や沖縄地方が多い。中でも博多港や長崎港、那覇港で特に多く、この3港で2023年全体の84.7%を占める。

国籍・地域別では、台湾が7.5万人、中国が6.2万人と多く、この2か国・地域で全体の82.5%となった。コロナ禍以前は中国が全体の約8割を占める状況だったが、訪日外客数と同様で、クルーズ客についても中国の回復が遅れている(表Ⅱ-1-27)。

表Ⅱ-1-27 上陸港別、国籍・地域別クルーズ客数 (単位:人)

上陸港	国籍・地域					
	全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国	その他
日本全国	166,460	14,618	75,027	4,447	62,271	10,097
関門港	2,258	0	0	0	2,242	16
博多港	37,322	2	3,303	109	32,588	1,320
長崎港	21,181	1,638	3,356	46	15,878	263
佐世保港	5,617	1,980	2,840	12	726	59
鹿児島港	7,945	1	4	61	3,670	4,209
那覇港	82,438	5,083	65,522	4,210	5,587	2,036
平良港	2	0	0	0	0	2
石垣港	3,079	0	1	5	936	2,137
その他	6,618	5,914	1	4	644	55

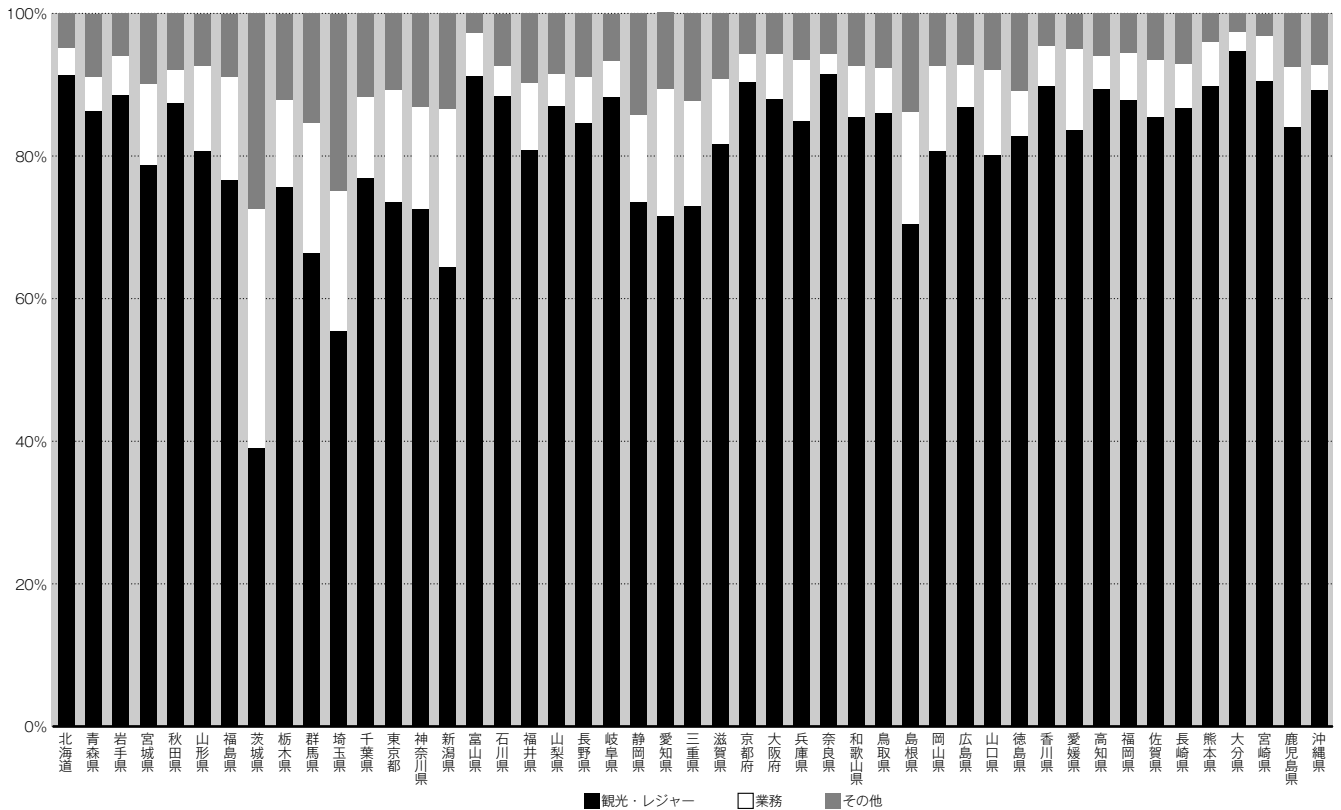
(注)「関門港」は下関港、門司港を含む。

資料:法務省「出入国管理統計」

③主な旅行目的

各都道府県を訪問する外国人旅行者の主な旅行目的を見ると、多くの地域で「観光・レジャー」目的客の比率が7～9割を占めている。一方で、茨城県、群馬県、埼玉県、新潟県では「業務」目的や、親族・知人訪問や留学等を含む「その他」目的の割合が高く、「観光・レジャー」目的は4～6割程度となっている(図Ⅱ-1-14)。

図Ⅱ-1-14 都道府県別訪日外国人訪問者の主な旅行目的(2023年4～12月期)



(注)1～3月期は調査中止となったため、4～12月期の結果である。

資料:観光庁「訪日外国人消費動向調査」

④旅行消費額

2023年は、「訪日外国人消費動向調査」のうち、訪日外国人の都道府県別旅行消費額を算出するための「B1.地域調査」について、新型コロナウイルス感染症の影響により1～3月期の調査を中止している。そのため、4～6月期、7～9月期、10～12月期の3四半期の結果が観光庁のウェブサイトに掲載されているため、そちらを参照されたい。

⑤国籍・地域比率(訪日外国人観光客)

各都道府県を訪問する外国人旅行者のうち、「観光・レジャー」目的客(以下、訪日外国人観光客)のみにしぼって、国籍・地域別比率を示す。

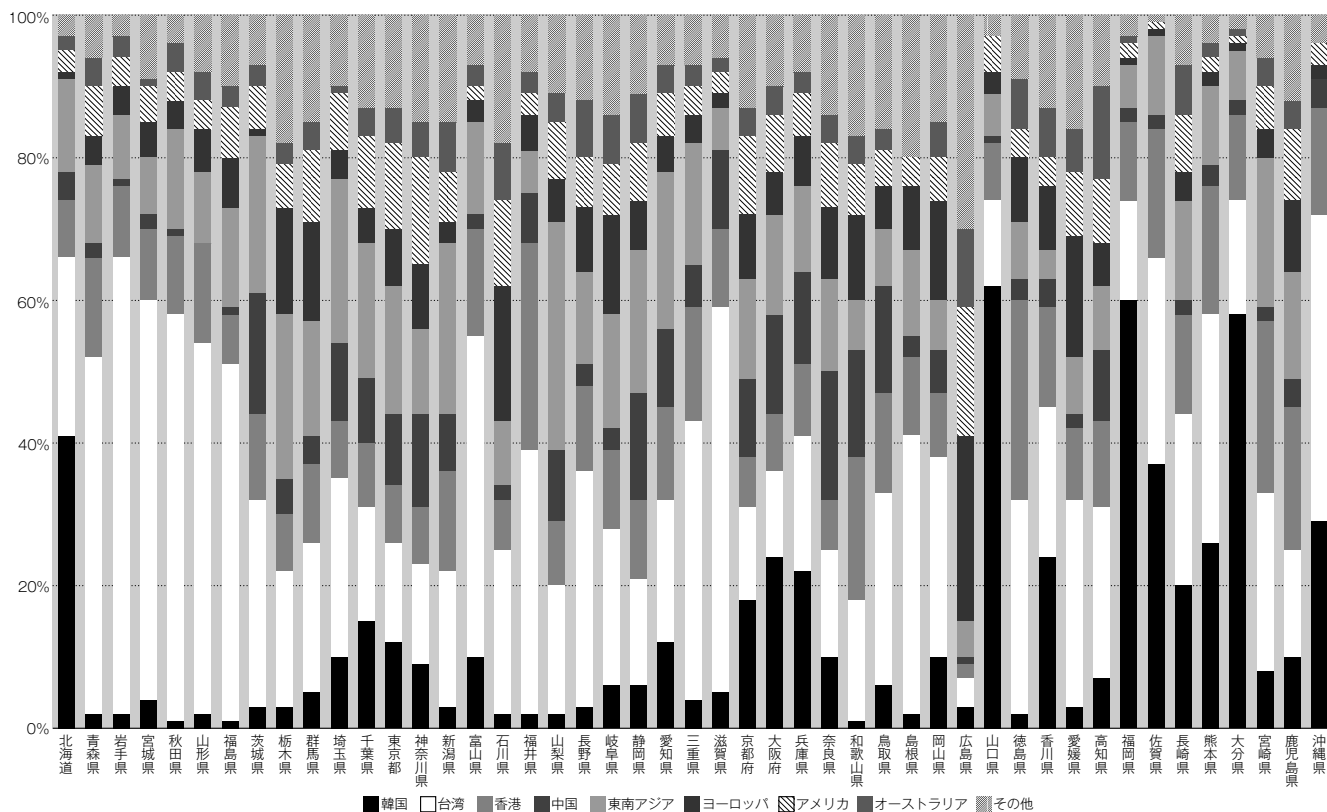
東アジアは国籍・地域によって訪問地が大きく異なり、全国各地に分散している。韓国人比率は九州で高い傾向にある。特に福岡県、大分県における比率が高く、訪日外国人観光客の約6割を韓国人

が占めている。また、北海道、山口県における比率も高い。台湾人比率は東北地方等で高く、いずれの都道府県でも5割以上となっている。また、富山県、三重県、滋賀県、沖縄県でも4～5割と高い。香港人比率は福井県や和歌山県、徳島県、宮崎県、鹿児島県で高い傾向が見られ、2～3割程度を占めている。中国人比率はゴールデンルート上のエリアで高く、一都三県、静岡県、愛知県、二府六県等で高い。ただし、回復が遅れている関係で、コロナ禍前のように各都道府県で5割以上を占めるといった状況ではない。

東南アジア人比率は関東地方を中心に高い傾向が見られ、ほかにも北関東地方や新潟県、山梨県、愛知県、宮崎県等で2割程度を占めている。

欧米豪の比率は有名歴史観光地を抱える地方において高い点が共通しており、石川県(金沢)、広島県(宮島)等で高い。このうち広島県は特に高く、欧米豪を合わせた訪問者の比率は5割に達する(図Ⅱ-1-15)。

図Ⅱ-1-15 都道府県別訪日外国人観光客の国籍・地域比率(観光・レジャー目的客、2023年4～12月期)



(注) 1～3月期は調査中止となったため、4～12月期の結果である。

資料: 観光庁「訪日外国人消費動向調査」

⑥平均泊数と旅行支出

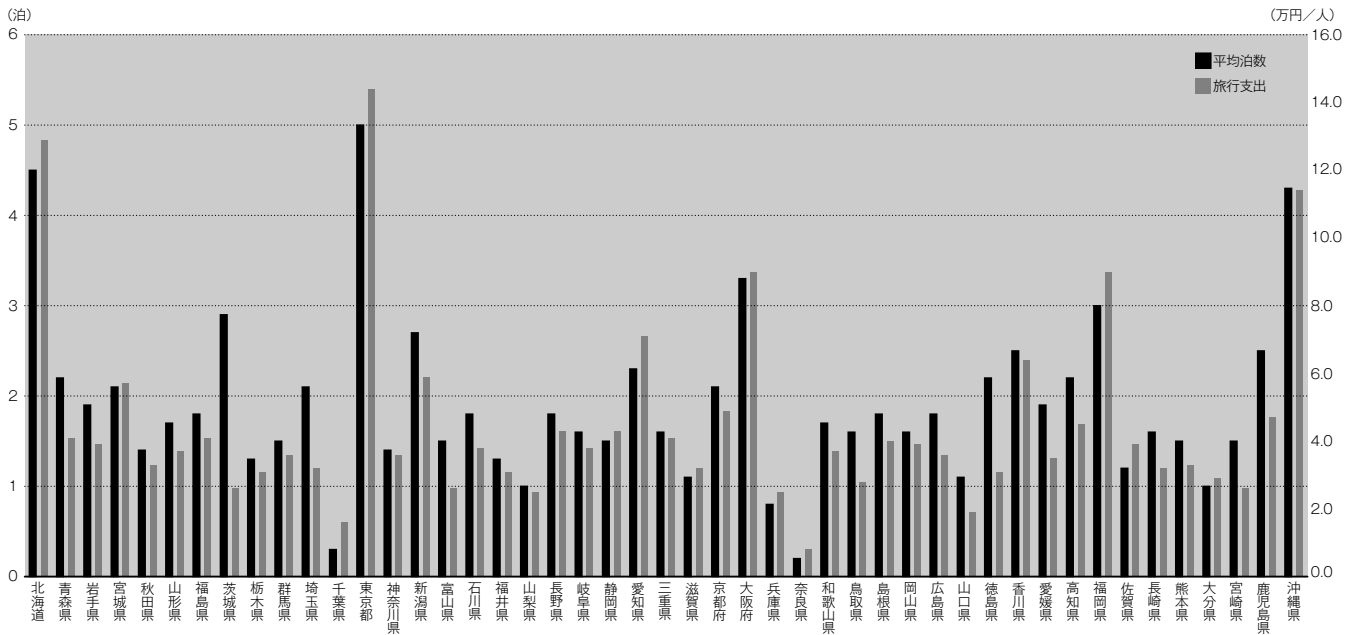
各都道府県を訪問する訪日外国人観光客による、都道府県別の平均泊数と旅行支出(パッケージツアー等参加費の訪問地取入分を含む)を見ると、泊数の長さや旅行支出は概ね連動していることがわかる。北海道や東京都、沖縄県は平均泊数が長く、旅行支出も高い。逆に、日帰り客の多い奈良県や、成田空港利用者が大半の千葉県は平均泊数が短く、旅行支出も低い。一方で、茨城県や埼玉県、徳島県等は、平均泊数が高いにもかかわらず、旅行支出は低い(図II-1-16)。

地域ブロック別に見ると、平均泊数は関東地方、近畿地方、北海道の順で長い。旅行中支出は関東地方で15.5万円と突出して高く、次いで近畿地方、沖縄県、北海道、九州地方の順となっている。

国籍・地域別に見ると、多くの地方で香港、中国の旅行中支出が高い。中国は北海道や関東地方で高く、20万円を超える。また、表章しているどの国籍・地域でも、東京都や大阪府における旅行中支出が高い傾向は変わらないが、アメリカのみ大阪府と京都府の旅行中支出額がほぼ同額であり、ほかの国籍・地域と比較しても京都府での旅行中支出が高い(表II-1-28)。

(園部容子)

図II-1-16 都道府県別 訪日外国人観光客の平均泊数・旅行支出(2023年4~12月期)



(注) 1~3月期は調査中止となったため、4~12月期の結果である。

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

表II-1-28 国籍別地域ブロック別 訪日外国人観光客の平均泊数・旅行中支出(2023年4~12月期)

訪問地	平均泊数 (単位: 泊)						
	国籍・地域 全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国	タイ	アメリカ
北海道	4.5	3.5	4.9	6.2	4.8	5.0	4.9
東北	4.0	2.4	4.5	4.6	-	3.8	3.7
関東	5.6	4.1	4.7	5.3	5.0	5.0	6.2
北陸信越	2.4	1.8	2.3	2.1	2.1	1.9	2.4
中部	2.5	2.5	2.6	3.2	2.1	2.4	2.2
近畿	4.8	3.3	4.7	5.5	5.3	4.8	4.9
中国	1.9	0.9	2.9	1.8	-	-	1.8
四国	3.5	2.8	4.3	4.7	-	-	-
九州	3.9	2.9	4.9	5.5	5.5	5.8	5.8
沖縄	4.3	3.6	4.2	5.0	4.9	-	5.4
(以下再掲)							
東京都	5.0	3.7	4.0	4.6	4.3	4.2	5.5
大阪府	3.3	2.8	3.1	4.0	3.8	3.9	2.8
京都府	2.1	0.7	1.6	1.6	2.0	1.2	2.9

(注1) 訪問地における泊数の平均値である。
(注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。
(注3) サンプル数が少ない数値は非表示としている。
(注4) 1~3月期は調査中止となったため、4~12月期の結果である。

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

訪問地	旅行中支出 (単位: 万円/人)						
	国籍・地域 全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国	タイ	アメリカ
北海道	10.2	7.7	10.9	17.3	20.4	8.9	8.8
東北	7.0	5.8	8.2	8.3	-	6.6	5.3
関東	15.5	10.2	14.4	19.1	21.3	13.0	16.3
北陸信越	3.9	1.9	3.4	4.9	5.9	3.4	4.4
中部	5.8	6.4	6.5	9.9	7.9	4.9	4.8
近畿	11.8	7.8	11.4	16.7	17.1	12.0	11.8
中国	3.4	1.9	5.9	4.4	-	-	3.2
四国	6.5	6.3	8.3	10.4	-	-	-
九州	10.2	8.1	11.8	17.9	16.4	14.8	6.9
沖縄	10.3	9.3	9.9	13.3	14.7	-	7.8
(以下再掲)							
東京都	13.6	9.3	12.1	16.5	18.6	10.7	14.4
大阪府	8.4	6.3	8.6	12.6	12.7	10.0	6.9
京都府	4.4	1.7	3.1	4.2	5.2	2.5	7.0

(注1) 訪問地における一人当たり旅行中支出の平均値である。
パッケージツアー参加費に含まれる宿泊料金等の滞在費は含まない。
(注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。
(注3) サンプル数が少ない数値は非表示としている。
(注4) 1~3月期は調査中止となったため、4~12月期の結果である。

資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

3 世界の国際観光動向

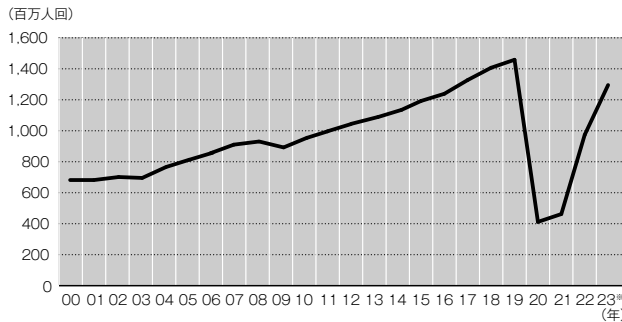
2023年の世界の国際観光客到着数は
前年比33%増で回復が進む

(1)インバウンド(到着地側)の動向

●国際観光客到着数

国連世界観光機関 (UN Tourism) の最新データ (2024年5月時点)によると、2023年における世界全体の国際観光客到着数 (International Tourist Arrivals) は2019年から約1.7億人回減の13億人回 (暫定値、2019年比11.2%減)となった。前年比は33.4%増であり、2022年に続いてさらなる回復の一年となった (図II-1-17・表II-1-29)。

図II-1-17 世界の国際観光客到着数の推移



(注) 2023年は暫定値。
資料：国連世界観光機関「Tourism Highlights」及び「World Tourism Barometer」

2023年の国際観光客到着数の状況を到着地域別に見ると、前年に続いて地域差が見られた。2021年から先行して回復傾向を見せていたヨーロッパやアメリカに比べて、アジア太平洋地域の増減率が大きく、地域全体で前年比154.2%増、2019年比34.6%減となった。アジア太平洋地域の中で特に回復が遅れていた北東アジアでは、前年比で360.7%増、2019年比で44.5%減であり、いまだ回復途上にある (表II-1-29)。

2023年の国際観光客到着数の上位10か国は、欧米諸国が中

心となった。一部の国で2019年比はマイナスだが、前年比ではいずれもプラスである。また、日本を含む北東アジアでは、前年比が100%を超える状況で、大幅な回復となった (表II-1-30)。

表II-1-30 国際観光客到着数ランキング (到着国・地域別)

2023年 順位	到着国・ 地域	到着国・地域別 国際観光客到着数 (百万人回)							到着数 調査 方法
		2019	2020	2021	2022	2023*	増減率 (%)		
						2023*/2019	2023*/2022		
1位	フランス	90.9	41.7	48.4	93.2	100.0	10.0	7.3	TF
2位	スペイン	83.5	18.9	31.2	71.7	85.2	2.0	18.9	TF
3位	アメリカ	79.4	19.2	22.3	50.8	66.5	△16.3	30.9	TF
4位	イタリア	64.5	25.2	26.9	49.8	57.2	△11.3	14.9	TF
5位	トルコ	51.2	15.9	29.9	50.5	55.2	7.7	9.3	TF
6位	メキシコ	45.0	24.3	31.9	38.3	42.2	△6.4	10.0	TF
7位	イギリス	39.4	10.7	6.3	30.7	37.2	△5.6	21.1	TF
8位	ドイツ	39.6	12.4	11.7	28.5	34.8	△12.0	22.3	TCE
9位	ギリシャ	31.3	7.4	14.7	27.8	32.7	4.4	17.6	TF
10位	オーストリア	31.9	15.1	12.7	26.2	30.9	△3.1	17.9	TCE

(11位以下の主な北東アジアの国・地域)

16位	日本	31.9	4.1	0.2	3.8	25.1	△21.4	554.1	VF
22位	香港	23.8	1.4	0.1	0.6	17.2	△27.8	-	TF
34位	韓国	17.5	2.5	1.0	3.2	11.0	△37.0	245.0	VF
48位	台湾	11.9	1.4	0.1	0.9	6.5	△45.3	624.0	VF

【TF】国境での調査 (日帰りを除く) / 【VF】国境での調査 (日帰りを含む) / 【TCE】宿泊施設 (非営利含む) での調査
(注1) 2023年は暫定値。
(注2) 中国は2022年値、2023年値の公表がないため、掲載なし。
(注3) 増減率は国連世界観光機関の公表値を掲載しているため、国際観光客到着数から算出した結果と一致しないケースがある。

資料：国連世界観光機関「World Tourism Barometer」

表II-1-29 世界の国際観光客到着数 (到着地域別)

年	到着地域別 国際観光客到着数 (百万人回)											シェア (%)	増減率 (%)		
	2000	2005	2010	2015	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023*		2023*	2023*/2019	2023*/2022
世界全体	680.0	809.0	955.7	1,196	1,333	1,413	1,465	407.0	458.0	975.0	1,300.0	100.0	△11.2	33.4	
到着地域	ヨーロッパ	392.6	452.9	490.6	605.0	676.6	716.0	742.4	239.7	301.3	609.5	709.4	54.6	△4.4	16.4
	アジア太平洋	110.4	154.1	208.2	284.6	324.1	346.5	362.7	59.1	24.6	93.3	237.2	18.2	△34.6	154.2
	北東アジア	58.4	85.9	111.5	142.1	159.5	169.2	170.3	20.3	10.9	20.5	94.4	7.3	△44.5	360.7
	東南アジア	36.3	49.0	70.5	104.2	120.6	128.6	138.6	25.5	3.0	42.3	99.0	7.6	△28.6	134.1
	オセアニア	9.6	10.9	11.5	14.3	16.6	17.0	17.5	3.6	0.8	6.8	12.9	1.0	△26.2	90.5
	南アジア	6.1	8.3	14.7	24.0	27.5	31.7	36.3	9.8	10.0	23.8	30.9	2.4	△14.8	30.0
	アメリカ	128.2	133.3	150.3	194.1	210.9	216.0	219.3	69.6	81.8	157.2	200.2	15.4	△8.7	27.4
アフリカ	26.2	34.8	50.4	53.5	63.3	68.7	69.0	18.7	19.7	47.0	66.3	5.1	△3.9	41.2	
中東	22.4	34.0	56.1	58.3	57.7	65.5	71.3	19.4	30.2	67.8	87.0	6.7	22.0	28.3	

(注1) 2023年は暫定値。
(注2) 増減率は国連世界観光機関の公表値を掲載しているため、国際観光客到着数から算出した結果と一致しないケースがある。

資料：国連世界観光機関「World Tourism Barometer」

表II-1-31 世界の国際観光収入(到着地域別)

年	到着地域別 国際観光収入 (10億米ドル)										シェア (%)	増減率 (現地通貨基準) (%)		到着地域別 国際観光客 到着数 (百万人回)	1人当たり 国際観光収入 (米ドル/人回)
	2010	2015	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023*	2023*		2023*/2019	2023*/2022		
世界全体	980.0	1,202.0	1,350.0	1,439.0	1,488.0	558.0	638.0	1,126.0	1,507.0	100.0	△2.5	28.8	1,300.0	1,159	
到着地域	ヨーロッパ	427.5	449.8	520.3	569.2	584.0	249.3	329.3	553.0	660.0	43.8	7.2	13.3	709.4	930
	アジア太平洋	254.3	355.0	396.1	435.2	441.0	126.3	90.6	160.0	347.0	23.0	△21.9	115.5	237.2	1,463
	北東アジア	122.9	167.1	168.1	193.3	187.2	44.9	44.9	49.2	141.8	9.4	△23.4	191.8	94.4	1,502
	東南アジア	68.5	108.6	130.7	138.2	146.9	31.2	11.0	49.4	102.9	6.8	△31.8	103.0	99.0	1,039
	オセアニア	42.8	47.7	57.4	61.1	61.4	32.7	20.3	30.9	58.4	3.9	△6.3	86.0	12.9	4,527
	南アジア	20.1	31.6	39.9	42.5	45.7	17.5	14.3	30.5	43.9	2.9	△4.9	42.5	30.9	1,421
	アメリカ	215.2	306.0	329.1	320.9	331.0	125.4	142.5	262.0	333.0	22.1	△4.5	20.5	200.2	1,663
	アフリカ	30.4	32.6	36.4	38.8	39.0	14.9	17.8	33.0	38.0	2.5	△5.3	11.9	66.3	573
中東	52.2	58.7	68.4	75.2	92.0	41.9	58.0	118.0	129.0	8.5	33.3	6.8	87.0	1,483	

(注1) 2023年は暫定値。

(注2) 1人当たり国際観光収入は(公財)日本交通公社算出。

(注3) 増減率は国連世界観光機関の現地通貨基準値を掲載しているため、国際観光収入額から算出した結果と一致しないケースがある。

資料：国連世界観光機関「World Tourism Barometer」

●国際観光収入

2023年の国際観光収入(International Tourism Receipts)は、世界全体でおよそ1兆5,070億米ドル(前年比28.8%増)と推計される(表II-1-31)。

到着地域別に見ると、昨年回復の遅れが目立っていたアジア太平洋地域を含めたすべての地域で前年比プラスとなった。特に北東アジア、東南アジアでの回復が顕著である。

2023年の国際観光収入を到着国・地域別に見ると、上位国は欧米諸国が中心となった中で、日本は10位にランクインした。前年比で見ると、日本、香港、台湾の伸びが大きい(表II-1-32)。

(2)アウトバウンド(出発地側)の動向

次に、出発地の国・地域別に世界の国際観光動向を概観する。国際観光支出(International Tourism Expenditure)を出発国・地域別に見ると、昨年2位となっていた中国(前年比80.2%増)が1位に返り咲いた。

上位10か国において、前年比はいずれもプラスとなっており、回復傾向といえる。また、回復が遅れていた北東アジアは、前年比で大幅な回復状況となっているが、2019年比で見るといまだマイナスの状況である。一方で、欧米諸国を中心に2019年を超えている状況であり、地域差がある(表II-1-33)。

(園部容子)

表II-1-32 国際観光収入ランキング(到着国・地域別)

2023年 順位	到着国・地域	到着国・地域別 国際観光収入 (10億米ドル)					増減率 (現地通貨基準) (%)	到着地域別 国際観光客 到着数 (百万人回)	1人当たり 国際観光収入 (米ドル/人回)
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年*			
1位	アメリカ	199.0	72.5	71.4	136.9	175.9	28.5	66.5	2,645
2位	スペイン	79.7	18.5	34.5	72.9	92.0	22.9	85.2	1,080
3位	イギリス	58.4	26.7	33.0	67.6	73.9	12.1	37.2	1,987
4位	フランス	63.5	32.6	40.8	59.7	68.6	12.0	100.0	686
5位	イタリア	49.5	19.8	25.2	43.7	55.9	24.6	57.2	977
6位	アラブ首長国連邦	30.7	19.7	27.6	49.3	51.9	5.3	28.1	1,847
7位	トルコ	34.3	13.3	26.6	41.2	49.5	20.2	55.2	897
8位	オーストラリア	45.5	25.8	17.0	24.6	46.6	97.3	7.2	6,472
9位	カナダ	29.8	13.9	15.3	28.1	39.2	45.0	18.3	2,142
10位	日本	46.1	10.7	4.9	9.2	38.6	346.3	25.1	1,538

(11位以下の主な北東アジアの国・地域)

19位	中国	35.8	10.0	11.3	13.5	24.8	91.0	-	-
22位	香港	28.9	2.9	1.8	3.1	21.1	572.2	17.2	1,227
26位	韓国	20.9	10.3	10.8	12.5	15.3	22.9	11.0	1,391
38位	台湾	14.4	1.8	0.8	1.8	8.7	390.9	6.5	1,338

(注1) 2023年は暫定値。

(注2) 1人当たり国際観光収入は(公財)日本交通公社算出。

(注3) 中国は2023年の「国際観光客到着数」の公表がないため、「1人当たり国際観光収入」は掲載なし。

(注4) 増減率は国連世界観光機関の現地通貨基準値を掲載しているため、国際観光収入額から算出した結果と一致しないケースがある。

資料：国連世界観光機関「World Tourism Barometer」

表II-1-33 国際観光支出ランキング(出発国・地域別)

2023年 順位	出発国・地域	国際観光支出 (10億米ドル)						増減率 (現地通貨基準) (%)	
		2010年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年*	2023年*/2019年	2023年*/2022年
1位	中国	54.9	254.6	131.1	109.4	114.8	196.5	△20.9	80.2
2位	アメリカ	86.6	132.0	33.7	56.7	115.3	150.0	13.6	30.1
3位	ドイツ	78.1	93.2	38.9	51.0	89.7	111.9	24.3	21.5
4位	イギリス	60.7	85.9	24.5	27.3	81.7	110.3	31.8	19.6
5位	フランス	38.5	50.5	28.7	36.0	41.3	49.0	0.4	15.6
6位	カナダ	30.0	35.3	12.1	8.1	28.6	38.3	10.2	38.7
7位	イタリア	27.1	30.3	10.9	15.0	26.9	34.2	16.7	23.6
8位	インド	10.5	22.9	12.6	14.3	25.9	33.3	70.6	34.8
9位	ロシア	26.7	36.2	9.1	11.4	20.8	33.0	△8.8	58.6
10位	韓国	18.8	32.7	16.1	17.8	20.8	27.8	△15.0	33.7

(11位以下の主な北東アジアの国・地域)

17位	香港	17.4	26.9	5.5	3.4	5.5	22.7	△15.7	313.1
23位	台湾	9.4	20.5	3.0	1.2	2.5	15.5	△24.3	514.0
28位	日本	27.9	21.3	5.5	2.8	5.1	12.7	△22.8	164.6

(注1) 2023年は暫定値。

(注2) 増減率は国連世界観光機関の現地通貨基準値を掲載しているため、国際観光支出額から算出した結果と一致しないケースがある。

資料：国連世界観光機関「World Tourism Barometer」